

2022年度 純心聖母会主催 わかもの黙想会 ちょい旅 《長崎》

テーマ：「一人じゃない。共に歩もう、みんなつながっている」

去る11月19日（土）～20日（日）、川口昭人神父様（長崎教区）ご指導のもと、浦上修道院・ポプラにて、わかもの黙想会「ちょい旅」が行われました。テーマは、2023年に行われるシノドスに合わせて、「一人じゃない。共に歩もう、みんなつながっている」。今回の参加者は、対面11名とオンライン1名。また東京でも同日に黙想会が行われ、東京と長崎をオンラインでつなぎ、場所は離れていても同じ内容を味わうことができました。共に祈り、分かち合い、神さまの恵みに感謝する静かなひと時を過ごすことができました。川口神父様と参加者の皆さん、祈りと協力で支えて下さったSr.坂本をはじめ、純心聖母会の姉妹方に感謝しています。

神父様の講話で心に残ったこと

～参加者の感想より～

1日目、川口神父様より 大村入国管理センターでの難民の方々のための活動について、後半では聖書を用いてのいろいろなお話をいただきました。



- ・難民の方々についてのお話から、一人一人に寄り添って活動されており、一人一人の幸せを願っていることが伝わってきました。
- ・日本で移民や難民の方々が苦しんでおられる。そのことに無知であった。その方々と共に未来を作るため、まずは祈りの中でその方々のことを思い出すことから始めたいと思う。誰一人取り残すことなく、知らない情報や人々にもアンテナをはって、忙しくても立ち止まって今の自分にできることをしたい。
- ・「一人ひとりが等しく尊い命」ということ。
- ・入管の方々はお互いの宗教を敬いあっているということ。
- ・聖書のお話もとても分かりやすく、聖書が身近に感じられました。
- ・心に余裕がない時、一度立ち止まって自分に返る時間も必要。
- ・入管の話聞いて、私たちにできることを考えたとき、神様にお祈りすることだと思いました。神という存在が身近に感じられることの幸せを感じました。



神父様とともに。
みんな
いい笑顔！



聖母のみこころの講話で心に残ったこと

2日目、Sr.坂本より 聖母の汚れなきみ心についてのお話をいただきました。



- ・純心＝マリア様の汚れなきみ心ということで、純心聖母会がどういう使命を担っているのか、また、そこに私たちも携わっているという使命感をもって子供や人に関わっていきたいと思いました。
- ・「純心」は、神様を信頼する心、弱い人のために自分の身を削って奉仕する心、みんなのためにと手を差しのべる心（マリア様の心）だと知りました。子供たちにこのまっすぐな心を伝えていこうと思います。
- ・無償の愛の奉仕とは、自分に余裕があるときしかできないことだと思った。私もマリア様のように誰かのために気づいて行動する、無償の愛の奉仕を自然にできるようになりたいと思った。
- ・マリア様の優しさは、痛みや苦しみをも受け入れたその先の愛からだと理解しました。自分だけにとどまるのではなく、周りの人野苦しみも知ることがありに繋がるのではないかと考え、私もそのような人になりたいと思いました。
- ・無償の愛、無条件の愛を大切に過ごしていきたいと思いました。何事も愛をもって引き受け、人が見ていないところで奉仕し、人を喜ばせることのできる人でありたい。マリア様の心に近づきたいと改めて感じました。
- ・学園標語について、その言葉の意味を深く知ることができた。関わる人に今何が必要なのか考え、まわりの人を喜ばせていきたい。
- ・マリア様の御心に倣って生きることで人を大切にすることを少しずつ実践していきたいと思いました。



ちょい旅全体を通して

- ・個人の祈りの時間。静かな中で長い時間振り返る機会はなかなかないので、とても良い時間を過ごせた。
- ・祈りの時間では、ゆったりとした時間の中で過ごし、清らかな気持ちになれたように感じ、気持ちに余裕が生まれ、自分ではなく周りの人のことを考えることができました。
- ・講話から、新しい発見がたくさんあり、豊かになった気がします。
- ・分かち合いて、多くの人の考えや感想を聞くことができた。
- ・聖堂で静かに自分と向き合い、祈ることができた。



▲聖体賛美式の様子。ロザリオを唱えました。



▲分かち合いで豊かにされました。



▲純心伝統のアップルパイ、身も心も満たされました。



ポプラの木の下で。
祈りの中で、お恵みをたくさんいただきました。

このポプラは、気軽に立ち寄れる宿り木のような場所です。
皆さんのまたのお越しをお待ちしています！

※黙想会の様子は「純心ポプラ」のInstagramでも見れますよ！
同日開催された東京の黙想会の様子も見れるので、ぜひ「純心ポプラ」を訪問してみてくださいね！！

